

特長

優れた耐食性と耐薬品性を実現するエポキシタイプ

1. 有機溶剤不使用で、環境と人に優しい
2. 優れた耐食性・耐薬品性
3. 厚膜塗装が可能で品質管理や作業管理が容易

項目		標準硬化タイプ	低温硬化タイプ
樹脂の種類		エポキシ樹脂	
塗料密度(白)		1.50 ± 0.20	
塗装法と膜厚	静電塗装	60 ± 10 μm	60 ± 10 μm
	流動浸漬	250 ± 50 μm	-

用途

電気製品・金属製品等

色相

各色対応可能

指定色をご要望の際は、営業担当員にご相談ください。

容量

リガード RE: 15 kg

使用方法

1. 前処理

安定した密着を得るため、化成処理工程は必要です。素材、必要とする性能を確認の上行ってください。

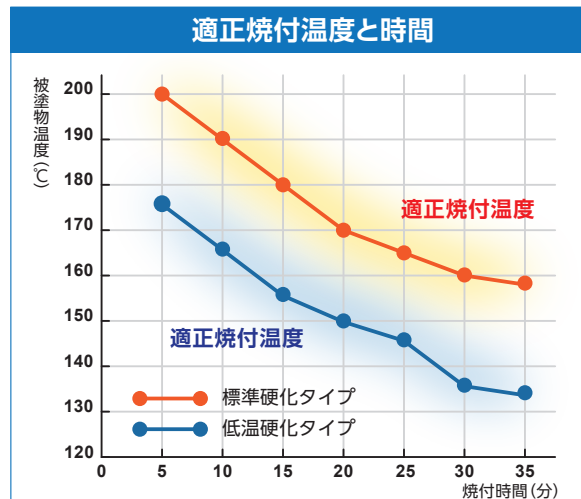
2. 塗装

標準膜厚 60 ± 10 μm

- ・ 塗装機設定条件(印加電圧・エア圧等)の確認をしてください。
- ・ ガン吹出パターンの確認をしてください。
- ・ 塗料吹出量の確認をしてください。
- ・ 自動塗装の場合、コンベアスピード、レシプロスピード、レシプロストローク等の調整を確認してください。

3. 焼付乾燥

標準焼付温度(被塗物温度)	
標準硬化タイプ	170 °C×20分
低温硬化タイプ	150 °C×20分



塗膜性能試験結果

試験項目	結果		試験条件
	標準硬化タイプ	低温硬化タイプ	
外観	良好	良好	目視判定
鏡面光沢度	85 以上	85 以上	60° 鏡面光沢度
鉛筆硬度	H	H	鉛筆硬度試験機(三菱ユニ鉛筆)
密着性	100/100	100/100	クロスカットテープ剥離試験
耐衝撃性	異常なし	異常なし	デュポン式衝撃試験機(φ1/2 インチ × 500 g × 50 cm)
エリクセン値	7 mm 以上	7 mm 以上	エリクセン試験機(φ 20 mm)
耐摩耗性	40 mg 以下	40 mg 以下	テーバー摩耗試験機(1 kg × 1,000 回転)
耐水性	異常なし	異常なし	純水(20℃ × 1 年間浸漬)
耐沸騰水性			純水(98℃ 以上 × 1 時間浸漬)
耐湿性			耐湿試験機(50℃ × 湿度 98% × 300 時間 外観確認)
耐塩水性	1 mm 以下	1 mm 以下	塩水噴霧試験機(1,000 時間 カット部錆幅 確認)
耐酸性	異常なし	異常なし	10% H ₂ SO ₄ (20℃ × 6 ヶ月間浸漬 外観確認)
			10% HCl(20℃ × 6 ヶ月間浸漬 外観確認)
			10% CH ₃ COOH(20℃ × 6 ヶ月間浸漬 外観確認)
			10% NaOH(20℃ × 6 ヶ月間浸漬 外観確認)
耐アルカリ性			

※試験板サイズ：0.8×70×150 mm (SPCC-SD 鋼板) ※前処理：リン酸亜鉛化成皮膜処理

塗装上の注意事項

- ①本製品を使用する際は、カタログ内の使用方法を必ずご確認ください。
- ②吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、その他の健康障害を起こす恐れがあります。
- ③着火源があると粉塵爆発の恐れがありますので取り扱いには十分ご注意ください。

使用期限・保管の注意事項

- ①使用期限は、未開封で当社出荷日より6ヶ月以内です。
- ②残った塗料の保管は元のポリエチレン袋に入れ、ゴムバンド等で密栓し湿気の入らないようにした上で保管してください。
- ③直射日光や水漏れは厳禁です。換気のよい、35℃以下の冷暗所に保管してください。
- ④床面への直置きはせず、パレット等の上に置いてください。また、ケースは4段積みまでにしてください。
- ⑤粉体塗料は特性上、高温・多湿や過度の加重によってブロッキングしやすい性質を持っています。適切な条件下で保管してください。

安全衛生上の注意事項

使用方法上の注意

- ①取扱い作業場所は、局所排気装置を設けてください。
- ②塗装中、乾燥中はよく換気をし、粉塵を吸込まないようにしてください。

- ③取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、防塵マスク、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、前掛け等を着用してください。
- ④取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ⑤粉体塗料は消防法による危険物ではありませんが、可燃物です。
- ⑥溶剤塗料に比べて着火の危険性は殆どありませんが、粉塵爆発の危険性について注意が必要です。粉塵濃度が高ならないよう、また、アース不良や発火源に十分注意してください。

応急処置

- ①皮膚または髪に付いた場合、直ちに塗料の付着した衣類をすべて脱ぎ、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外傷に変化があるときには、医師の診察を受けてください。
- ②目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- ③吸入し気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ④誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。

廃棄

- ①空容器類の廃棄は、中身を使い切ってから箱と内袋を分別して処理業者に委託してください。
- ②回収した微粉等を廃棄する場合も処理業者に委託してください。

その他

詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

※本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。 ※各種試験結果は当社においての評価であり、品質性能を保証するものではありません。
※本カタログの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用は固く禁じます。

製品に関するお問い合わせ先 TEL : 0493-26-0781 FAX : 0493-26-0786 お問い合わせフォーム : www.edog.co.jp/inquiry

